

室蘭工業大学-学報

NO.646



学术交流協定締結の様子
(3ページに関連記事あり)

2023年 8 月号

目 次

◇ トピックス ◇

令和5年度大学・高専機能強化支援事業に選定	1
韓国特性化専門大学発展協議会視察団が来学	2
タイ・Mae Fah Luang大学と学術交流協定を締結	3
第53回室蘭工大国際セミナーを開催	4
第30回蘭岳セミナーを開催	5
RPAツールのハンズオンセミナー（基礎編・実用編）を開催	6
第47回蘭岳コンサートを開催	7
航空宇宙機システム研究センターが逆転工事後初のロケットスレッド走行を実施	8
インフォメーションキャラバン in SAPPOROを開催	9
テクノカフェを開催	10
THE Asia University Rankings 2023で501～600位にランクイン！	11

◇ 外部資金 ◇

民間等との共同研究の受入れ	12
受託研究等の受入れ	13
奨学寄附金の受入れ	14

◇ 人 事 ◇

人事異動	15
計報	16

◇ 学内会議 ◇

学内各種委員会等の開催	17
-------------	----

◇ 日 誌 ◇

学内行事・学外行事	18
-----------	----

令和 5 年度大学・高専機能強化支援事業に選定

室蘭工業大学は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が公募した「令和 5 年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）」に申請し、令和 5 年 7 月 21 日（金）付けで選定されました。

本事業は、デジタル・グリーン等の成長分野の人材不足等の状況を受け、成長分野をけん引する高度専門人材の確保に向けて国が基金を創設し、機動的かつ継続的に大学への支援を行うものです。今回、室蘭工業大学の以下の取組が、「既設の情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員等による体制強化を図る取組」として支援されることとなりました。

室蘭工業大学は本事業において、大学院工学研究科博士前期課程情報電子工学系専攻に新たに「共創情報学コース」を設置し、幅広い理工学専門分野において多様な社会課題を解決に導くことができる「情報×専門」の高度情報専門人材を育成・輩出します。

「共創情報学コース」のコンセプト

1 データサイエンス、AI、コンピュータ科学などの高度な情報の専門知識を、他分野の理工学専門知識と合

わせて修得し、それらを駆使して多様な社会課題を解決に導くことができる高度情報デジタル人材を育成する。

2 高度な情報の専門知識を修得することができる教育課程を、従来型の教育方法に加え、ブートキャンプ教育やe-learning、他大学等との連携により行い、実践的な高度情報デジタル人材の量的な拡大を図る。

3 企業や地域の課題を組み込んだ実社会PBLにより、実社会での複数分野にまたがる多様な課題に対する解決能力を養成する。

4 国内外の先端的な企業開発者等の講義・セミナー等の交流等により、最先端技術・情報等の修得及び人的ネットワークの形成を図り、グローバルにも協働できる人材を育成する。

共創情報学コース紹介ページ（本学ホームページ）

https://muroran-it.ac.jp/academic/gs/gs_mp/mp_iaee/co-creation-info/

選定結果（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構ホームページ）

<https://www.niad.ac.jp/josei/selection/>

韓国特性化専門大学発展協議会視察団が来学

令和5年7月3日(月)に、韓国特性化専門大学発展協議会の視察団41名が、地域産業を担う実務に強い人材育成などの取組・事例を学ぶ目的で本学を訪れました。

今回の意見交換会で、「地域貢献」を大きなキーワー

ドとした本学の取組について説明を行ったのち、地方大学が抱える新入生確保に向けての課題や、地域との連携及び広報活動の重要性について、それぞれの立場からの意見が活発に交換されました。



本学の取組について説明をする松田理事



韓国特性化専門大学発展協議会視察団と本学関係者

タイ・Mae Fah Luang大学と学術交流協定を締結

令和5年7月10日(月)にタイ・Mae Fah Luang大学(以下MFU)の代表団4名をお招きし、本学にて学術交流協定締結の調印式を行いました。その後の協議会では、MFUのAREREERAS講師と本学有村教授との間におけ

る共同研究の実施状況及び今後の学生交流等に関する情報・意見交換を行い、今後も引き続き両大学間の交流を拡大していくことを確認しました。



調印式の様子



協議会の様子



MFU代表団と本学関係者

第53回室蘭工大国際セミナーを開催

令和5年6月30日(金)に第53回室蘭工大国際セミナーを開催しました。

今回は、本学特任講師のコリー・ハンター・リード氏による「米国ノックスビルから室蘭へ ～訪問団から大学教員に！～」という題目で講演を行いました。

講演では、ノックスビルと室蘭の姉妹都市関係の歴史やノックスビルの街の紹介のほか、リード先生がどうして室蘭に行こうと考えたのか、自身の実体験をユーモアを交えて講演していただき、参加した約35名の教職員、学生及び一般市民は興味深く聴き入っていました。

講演後の質疑応答では、参加者からの質問に対して懇切丁寧な説明があり、セミナーは盛況のうちに終了しました。



講演を行うコリー先生

第30回蘭岳セミナーを開催

蘭岳セミナーの第30回目を、令和5年7月5日(水)に教育・研究3号館N401講義室とオンラインのハイブリッド形式で開催し、会場及びオンラインで約70名が参加しました。

今回は、帝京大学薬学部寄付講座カイコ創薬学講座の特任教授関水久氏を講師に招き、「実験動物としての

カイコの創薬への利用」と題して、研究内容をわかりやすくご講演いただき、参加者は興味深く聴き入っていました。講演後の質疑応答では、会場の参加者からの質問に対して丁寧な説明がありました。セミナー終了後には、会場参加者に関水氏が発見した乳酸菌を使用したヨーグルトを配付し、セミナーは盛況のうちに終了しました。



講演する関水氏



会場の様子

RPAツールのハンズオンセミナー (基礎編・実用編) を開催

令和5年6月23日(金)、7月5日(水)にRPA(注)ツールのハンズオンセミナー(基礎編・実用編をそれぞれ2回、計4回)を本部棟3階大会議室で開催しました。

本取組みは、本学の事務業務に関するデジタルツール活用や業務改革を目的に、Microsoft365活用タスクフォースが計画・実施するセミナーです。講師は基礎編・実用編のいずれもタスクフォースメンバーが行っています。基礎編では、初級者を対象にExcelやWebの自動操作を学び、実用編では、基礎編受講者や経験者を対象に実業務で活用できる学内業務メッセージの繰り返し送信に関する自動化を行い、事務職員延べ25名が参加しました。

令和5年4月に採用された入試戦略課の来山さんは、基礎編・実用編の両方に参加して、「今回のセミナーに参加する前はRPAについて、なんとなく難しいものだ

とっていました。しかし実際に参加してみて、RPAは業務を効率化していくうえでとても便利なものだということが分かりました。自動でメールが作成された時は、『こんなときに使えそう。』などと色々な考えが思い浮かびました。今後は業務の効率化や、業務改善のために積極的に活用していきたいです。」と意気込んでいました。

7月下旬には、Microsoft Office 365に関するワークショップを行う予定で、今後もデジタルツールに関するイベントを開催して、職員の業務改善に役立てていきます。

注：Robotic Process Automationの略。これまでパソコンでヒトが行ってきた業務をソフトウェア(ロボット)に代行させるプロセス自動化技術。



ハンズオンセミナー(基礎編)の様子



ハンズオンセミナー(実用編)の様子

第47回蘭岳コンサートを開催

令和5年7月2日(日)に大学会館多目的ホールにおいて、第47回蘭岳コンサートを開催し、教職員、学生及び市民約100名が演奏を楽しみました。

今回は、室蘭工業大学管弦楽団の皆様とピアノ独奏で本学創造工学科2年の島谷一生さんをお招きしました。

コンサートでは、映画魔女の宅急便より「海に見える街」、「ホールニューワールド」、「パガニーニの主題による狂詩曲」第16～18変奏、「ニュルンベルグのマイスター

ジンガー」第一幕への前奏曲等が演奏され、来場者は30名を超える管弦楽団の迫力ある音色に聞き入っていました。

今回のコンサートにおいて、「令和5年5月能登地方地震災害義援金」をお願いした結果、皆様から寄せられた義援金は12,900円となりました。ご協力いただきました皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、ご報告を申し上げます。



コンサートの様子



演奏者と実行委員会委員

航空宇宙機システム研究センターが逆転工事後初の ロケットスレッド走行を実施

航空宇宙機システム研究センターでは、ロケットスレッドを用いた試験運用時の近隣への騒音の影響を低減するため、従来「東から西」へ向かって走行していた軌道レイアウトを、「西から東」に向かつて走行するよう変更しました。スタート点における推進供給設備の移設や減速用水路の配置換え、運用性向上のための改修も含めた工事は令和3年度末から令和4年度前半にかけて実施され、その後新形態での走行に向けて準備を進めてきましたが、令和5年6月30日(金)に、逆転レイアウトでは初の走行となるRun55走行試験を実施しました。

この試験は学内研究の一環である航空宇宙機用タンク内の推進スロッシング防止（液面の揺れを抑えるための

デバイスを装着）性能確認試験として行われたもので、全重量約550kgの走行台車が4本のハイブリッドロケットエンジンにより成功裡に走行、減速、停止しました。運用に携わる学生メンバーも一新され、初めてロケットスレッド運用を経験したばかりの面々ですが、今後、同種の試験を7月～9月にかけて複数回実施し、運用スキルを磨いてゆく所存です。（7月14日にも同形態でRun56を実施済）

逆転走行レイアウトではこれまでよりも大規模な試験を円滑に実施可能であり、衝突実験やパラシュート開傘試験など、多彩な共同研究を展開してゆく所存です。



逆転レイアウト初となるロケットスレッド走行写真
(Run55：2023/6/30実施)



保安集合写真



Run55では本学今井研究室のスロッシング防止デバイスを備えた透明タンクにステップ状加速度を与え、流体挙動を観察した。

インフォメーションキャラバン in SAPPOROを開催

令和5年7月15日(土)にインフォメーションキャラバン in SAPPOROを紀伊國屋書店札幌本店で開催しました。

これは、本学の特色ある教育・研究・地域貢献の取り組みを、市民の方に広く知ってもらい、また高校生に本学のPRをするために開催するもので、札幌市を中心に合計16回の開催をしてきました。

今年は、3年振りに札幌での開催となりました。

今回のメインイベントは、SPECIAL TALK SESSION (スペシャルトークセッション) では、「人工知能の未来

について～ChatGPTのような大規模言語モデルの未来～」と題し、YouTuberのラムダ技術部さんと本学ものづくり基盤センター教授の清水一道先生が、実際にパソコンを使用した実演などを通じて、人工知能のこれからについて語りました。

その他にものづくり体験教室での铸造体験や学生広報スタッフ「むろこーほー」による特別対談、入試相談コーナー、様々な実験を体験できる科学屋台など、多くの方々が参加しました。



スペシャルトークセッションの様子



むろこーほー特別対談の様子



科学屋台の様子



ムロびよん (左) と北海道新聞社のぶんちゃん

テクノカフェを開催

令和5年7月16日(日)にテクノカフェを紀伊國屋書店札幌本店で開催しました。

今回のものづくりトークでは、室蘭まちづくり放送株式会社 (FMびゅー) パーソナリティの井川 康子 氏をお招きし、本学の清水 一道 教授が開発した「ジンギス

カン鍋」のひみつを語っていただきました。

また、午前中に行われたものづくり体験教室では、多くの親子が参加し、錫を使用した鋳造体験を楽しんでいました。



ものづくりトークの様子



ものづくり体験教室の様子

THE Asia University Rankings 2023で 501～600位にランクイン！

令和5年6月22日(木)、タイムズ・ハイヤー・エデュケーション (Times Higher Education) が世界大学ランキング「Asia University Rankings2023」を発表し、本学は501～600位にランクインしました。

「Asia University Rankings 2023」には31の国と地域から669校がランクインしており、本学のランキングは北海道内では、北海道大学 (134位)、札幌医科大学 (401-500位) と共にランクインしています。

また、ランキングに参加した日本の工業系国立大学11校の中で本学は電気通信大学、長岡技術科学大学と並んで6位グループにランクインしています。

室蘭工業大学は工業大学としての教員の確かな研究力と延べ40,000余の同窓生の活躍を実績として教育改革を進め、地域にそして世界に貢献できる理工系学生の育成に邁進します。



外部資金

民間等との共同研究の受入れ

研究代表者・職・氏名	相手方区分	金額(千円)
もの創造系領域 教授 小室 雅人	中小企業	1,100
もの創造系領域 教授 清水 一道	大企業	1,500
もの創造系領域 教授 濱 幸雄	大企業	1,000
もの創造系領域 教授 廣田 光智	中小企業	1,300
もの創造系領域 准教授 中田 大将	独立行政法人	2,000
もの創造系領域 准教授 中田 大将	独立行政法人	200
しくみ解明系領域 特任教授 岸上 順一	大企業	4,000
合計(7件)		11,100

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

受託研究等の受入れ

研究代表者・職・氏名	委託先区分	金額 (千円)
もの創造系領域 准教授 吉 田 英 樹	地方公共団体	3,239
合 計 (1 件)		3,239

奨学寄附金の受入れ

寄 附 者	目 的	金 額 (千円)
株式会社鴻池組	工 学 研 究 助 成	500
株式会社ドーコン	工 学 研 究 助 成	300
株式会社大昌電子	工 学 教 育 助 成	50
公益財団法人池谷科学技術振興財団	工 学 研 究 助 成	1,320
東日本電信電話株式会社 北海道事業部	工 学 教 育 助 成	1,000
合 計 (5件)		3,170

人 事

人 事 異 動

国立大学法人
室蘭工業大学長発令

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
令和5年7月31日	〈雇用期間満了〉		
	ものづくり基盤センター技術補佐員	加 藤 裕 也	
	ものづくり基盤センター技術補佐員	鷺 見 恵莉奈	
	ものづくり基盤センター技術補佐員	遠 藤 友 人	
	ものづくり基盤センター技術補佐員	板 倉 詩 桜	
		谷 塚 智 大	
令和5年8月1日	〈採 用〉		
	経理課事務補佐員	七 條 彩 水	

訃 報

名誉教授

田 中 雄 一 (82歳)

本学名誉教授、田中 雄一 氏は、去る令和 5 年 6 月 30 日(金)逝去されました (82歳)。

ここに、生前の功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。

同氏は、室蘭工業大学大学院工学研究科修士課程を修了後、昭和42年 4 月室蘭工業大学助手、昭和52年 2 月に工学博士 (東北大学) を授与され、昭和46年 3 月に同講師、昭和48年 6 月に同助教授、昭和58年 7 月同教授に昇任し、平成 8 年 4 月地域共同研究開発センター長等を歴任され、平成16年 4 月同名誉教授となられ、現在に至っております。

専門は鑄造工学。



学内会議

学内各種委員会等の開催

< 6月25日～7月24日 >

開催日時 令和5年6月26日(月)
会議名 第2回経営協議会

開催日時 令和5年6月26日(月)
会議名 第10回役員会

開催日時 令和5年6月27日(火)
会議名 第11回役員会

開催日時 令和5年6月28日(水)
会議名 第3回学長特命連絡会

開催日時 令和5年7月11日(火)
会議名 第12回役員会

開催日時 令和5年7月13日(木)
会議名 第3回大学院工学研究科博士後期課程専攻長等会議

開催日時 令和5年7月19日(水)
会議名 第3回経営協議会

開催日時 令和5年7月20日(木)
会議名 第4回教育研究評議会

開催日時 令和5年7月20日(木)
会議名 第13回役員会

学内行事

- 6月30日(金) 第53回室蘭工大国際セミナー「米国ノックスビルから室蘭へ～訪問団から大学教員に！」
- 7月1日(土) 令和6年度編入学一般入試
- 7月3日(月) 辞令交付
- 7月5日(水) RPAツールハンズオンセミナー
- 7月6日(木) 「インスタで室蘭工業大学の魅力発見！学生フォトコンテスト2023 in Summer」開催（～8月31日まで）
- 7月10日(月) タイ・Mae Fah Luang大学と学術交流協定締結調印式
- 7月14日(金) 2023年度10月入学大学院博士前期課程外国人留学生入試（国外出願）合格発表
- 7月14日(金) 2024年度4月大学院博士前期課程推薦入試合格発表
- 7月14日(金) 2024年度4月編入学一般入試合格発表
- 7月20日(木) デジタル・キャンパス推進スチューデントアンバサダー任命式

学外行事

- 7月3日(月) 令和5年度北海道工学教育協会理事会・総会（オンライン）
- 7月7日(金) 第40回天城学長会議（伊豆：～9日まで）
- 7月15日(土) 室蘭工業大学インフォメーションキャラバン in SAPPORO（札幌）
- 7月16日(日) 室蘭工業大学テクノカフェ（札幌）
- 7月18日(火) 令和5年度研究協力会総会（室蘭）
- 7月24日(月) 全国ダイバーシティネットワーク組合幹事会（オンライン）
- 7月24日(月) 北海道地区国立大学法人等職員採用合同説明会（札幌）

編集後記

◆ 学報646号をお読みいただきありがとうございます。現在本学ではグッズ製作にも力を入れておりますので、どんなものだったら人気が出るだろうかと考えたりします。我が家にある他大学のグッズを眺めてみますと、マフラータオルは使い勝手が非常に良いですし、マグカップも日常使いにぴったりです。学生の頃国外の大学に行った際は、何となくおしゃれという安直な理由でTシャツを買ってきました。別の国ではお土産に渡されたこともあるので、衣類は留学生に需要が高いのかもしれませんが。高級路線の商品をガラスケースに並べている大学もあったなあと思い出されます。本学には可愛いマスコットムロびよんがいますので、可能性は無限大です。とりあえずはアクリルキーホルダー・スタンドあたりの製作を希望しています。それでは次号もお楽しみに！
(Garoon：総務広報課総務広報係、E-mail：koho@mmm.muroran-it.ac.jp)

(総務広報課総務広報係)



室蘭工業大学のキャラクター「ムロびよん」

■編集発行 室蘭工業大学総務広報課
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5014

■印刷所 株式会社日光印刷
電話 0143-47-8308